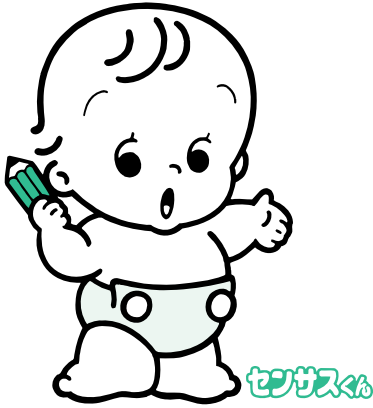


今年は何勢調査の年です

大切な統計調査です

- 住民登録とは関係なく、10月1日現在、普段住んでいる場所で、調査票に記入して頂きます。
- 国勢調査は日本に住んでいる全ての人が対象で、回答が義務づけられています。
- 調査員が皆さんのお宅へ、調査票の配布・受け取りにうかがいます。
- 国勢調査は未来の羅針盤として、私たちの生活にかかれます。
- 国勢調査員をはじめとする調査関係者には、守秘義務があり、調査内容の秘密は保護されます。



国勢調査に対して、少しでも多くのご理解とご協力を得られますよう、今号から調査期日(10月1日)まで、国勢調査についてのお話を載せてまいります。

国勢調査って何?

日本国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とした調査のことです。

いつからはじまったの?

1回目は大正9年。以来ほぼ5年ごとに行なわれており、今回調査はその18回目にあたります。

今回調査の特徴は?

日本の人口がはじめて減少に転じる、いわゆる「人口の転換期」を迎えつつあるわが国の姿をあきらかにするだけでなく、将来を見通すうえでも大変注目されている点です。

調査の内容は?

国勢調査は全数調査(全ての人が対象となる調査)ですので、複雑なものではありません。前回調査と比べ、「家計の収入の種類」等数項目、調査項目が少なくなっております。

調査に答える義務はあるの?

答える義務があります。「統計法」及び「国勢調査令」に

おいて、答える義務について規定されています。

日本以外でも同様の調査が行われているの?

行なわれています。世界における人口センサス(人口の全数調査)の歴史は古く、紀元前3600年頃のバビロニア、紀元前3000年頃のエジプト、中国の人口調査などにさかのぼります。「わが国の人口が世界で第9位」や「諸外国に比べ急速に進む高齢化」というのは、わが国の国勢調査と諸外国の同様の調査から

わかった結果です。

さて、次号ではもう少し詳しく、例えば、「調べた人口はどんなことに使われるの?」「その主な利用は?」など、その他各調査項目に添う形で、なぜ何のためにその項目があるのかなどのお話を予定しています。

なお市では、調査の実施に際し、効果的な調査実施体制を整え、調査の万全を期するため、7月1日「平成17年国勢調査北秋田市実施本部」を設置しました。



佐藤修助助役が国勢調査北秋田市実施本部長